



司書の顔がうっすら見えるマガジン

# MEGANE

第6回 何を読んでいるのかな？



この冊子は、図書館で働いている私たちのことをうっすら知ってほしいという  
思いで作っています。名前の由来は図書館司書=めがねというイメージから。



2階フロアの職員は、名古屋に関することならどこよりも調べる名古屋なんでも調査団として活動しています。名古屋が出てくる小説のリストや何月何日に名古屋で何が起こったかをまとめたカレンダーを作ったり、名古屋の偉人を紹介したりなどいろいろなコンテンツを発信しています (p7 参照)。今やっているのは、調査団が調べあげた名古屋についての報告書を資料と突き合わせて誤りがないか確認しています。毎月更新してHPにアップしたり館内に掲示したりしているのでぜひ見てみてくださいね。

**今読んでいる本** 『願わくば海の底で』(額賀濤/著 東京創元社)

担当なのでティーンズにオススメの本を吟味しています。

本に汚れなどがどうかチェックしています。利用者さんの求める資料が名古屋市図書館にない場合、他の地域の図書館から借り受けて提供することがありますが、図書館間で貸し借りをこの仕組みを相互貸借といいます。他の図書館に貸し出す本が間違っていないか、汚破損がないかをチェックして送っています。日本でこの館にしかない本もあるので、全国の図書館からたくさん依頼が来ているんですよ。



**『ハイキュー!!』シリーズ** (古館春一/作 集英社) **今読んでいる本**

アニメを4期まで全部見ていて映画も観にいきました。少し前に単行本コミックが完結したので読みはじめました。人気コミックの予約には順番予約を大活用しています(宣伝)。全部で45巻あるのですが、今は22巻くらいなのでちょうど折り返しあたりです。スポーツマンガは読んでるとアツい気持ちになれるのがいいですよ。自分は全然運動しないのですが一緒に青春している感じがして!(笑) 推しキャラはスガさんです!



利用者の方からのレファレンス(図書館の資料などを使って、司書が調べものや資料・情報探しのお手伝いをする)に回答するために、資料を読んでいます。「読む」と言うより、目次や索引でキーとなる言葉を「探し」ています。探している情報がすぐに見つかることもあれば、キーワードを変えてもなかなか見つからず、目を通した本のタワーがどんどん高くなることも……。

**今読んでいる本** 『僕には鳥の言葉がわかる』(鈴木俊貴/著 小学館)

新着本紹介文を書くために読んでいます。

## 第6回

# 何を読んでいるのかな?

図書館で働いているんだと話すと、よく聞かれるのが「暇なときは自分の好きな本を読めるの?」ということ。フィクションの中に出てくる図書館では、そんな牧歌的な光景もありますが、実際にはそんなことはありません。貸出や返却手続きの時に、面白そうな本を見かけて中身が気になることはありますが、「今度借りよう」とタイトルを忘れないよう胸に刻むぐらいがせいぜいです。

では、カウンターで司書が本を読んでいるように見えるとき、実際にはどんなことをしているのか。鶴舞中央図書館2階の職員に尋ねてみました。また、プライベートで読んでいる本も聞いてみました。



購入している雑誌の受入作業を行っています。毎週2回、書店から雑誌が届くので、バーコードを貼ったり蔵書印を押したり装備をしたあと、図書館システムに登録します。巻号が間違っていないかどうかや、特集タイトルを入力したり、利用者の方がHPや蔵書検索機で検索したときに困らないようにきちんと確認しつつも当日中に完了しなければいけないのでスピードも重視して作業しています。

**今読んでいる本** 『名探偵と海の悪魔』(スチュアート・タートン/著 三角和代/訳 文藝春秋社)、

『科学と近代世界』(ホワイトヘッド/著 上田泰治・村上至孝/訳 中央公論新社)、『戦国の作法』(藤木久志/著 講談社)、“Homelessness”(Cameron Parsell/著 Polity)

展示に使用する資料を確認しています。2階の職員は2階のガラスケースなどの展示を持ち回りで担当しています。自分の担当する分野にちなんだテーマという縛りがあり、私は自然・工学分野に関する展示を考えています。なかなか目の見ない資料を広く知ってもらう絶好の機会なので、できるだけ多くの方の目に留まるよう工夫を凝らして、「面白い!」「こんなものがあったんだ」と感じてもらえる展示にしたいと思っています。



『黄金の王 白銀の王』(沢村凜/著 角川書店) **今読んでいる本**

名作ってきいたことがありますとぼろっと先輩に話したら、早速買って読んで貸してくれました。

利用者さんの気配に注意を向けながら作業をしていますが、もし万が一気がついていないようでしたらご遠慮なく話しかけてくださいね! 資料の検索や調べ方、調べもののご相談などいつでも大歓迎です!

ここまでで紹介したのは図書館の仕事のごくごく一部。表から見えないところでも、色々な仕事があるのです。年にほんの数回あるかどうかの珍しい業務もあります。今回は郷土資料担当者を Pick Up!!

## 古書店での買い付け

郷土資料と図書館について、『図書館ハンドブック 第4版』(日本図書館協会/編 日本図書館協会)では次のように書かれています。

「特定の公共的奉仕圏をもつ図書館は、その地域内に関するあらゆる資料(情報)の収集と利用について、他に転嫁できない最終的な責任をもつ」。

そんな定義に思いを馳せながら地元の古書店に行き、おもに名古屋に関する資料を一つ一つ状態や内容を確認して、購入するかどうかを担当者が話し合っています。



←今回の収穫

本のほか、地図もいくつか購入できました👍

## テレビ取材

歴代担当者の長年の積み重ねの甲斐あって、貴重な郷土資料を沢山所蔵しているので、テレビ番組に使用させてほしいと依頼がくることも。これからも資料や情報の収集・整理・保存をつづけ、利用者みなさんに活用してもらえよう励みます!!



愛知や名古屋など郷土に関わりのある内容が書かれた資料を確認しています。図書館に新しく入る資料で郷土に関する記述が少しでもあるものは、どんな内容でも一旦、郷土資料担当者が目を通すようになっています。それらを一冊ずつ確認し、知識の蓄積をしつつ、「調べものに役立つそう」「このタイトルからこの内容を探し出すのは難しいかも」という時は、名古屋市図書館デジタルアーカイブ“なごやコレクション”(p6参照)からキーワード検索で資料にたどり着けるようにデータ登録をします。地道ですが、後々大変役に立つ大切な作業です。

今読んでいる本 『水上バス浅草行き』(岡本真帆/著 ナナログ社)

ふと表紙と目が合い手に取った現代短歌の本。読みながら、気づくと顔がほころんでいます。

新しく出版された本の情報がまとめられた『週刊新刊情報』というカタログを見ている。図書館にあったほうがいいのかもと思う本を見つけたら、収集方針に合致しているかどうかや、出版社や著者はどうか、類書は持っているのか、持っているならどのくらい利用されているのかなどなど、色々勘案して図書館に入れるかどうかを判断しています。選書については、実物を見ながら選書をする「図書選択会議」も毎月2回行っています(詳しくはめぐね第2回参照)。



『葬送のフリーレン』シリーズ(山田鐘人/原作 アベツカサ/作画 小学館) **今読んでいる本**

9~11巻の「黄金郷のマハト」編が好きです。



中日新聞から郷土に関する記事を見つけて切り抜いています。おもに、名古屋市に関係のある記事、県内や中部圏に関する記事、また、図書館に関する記事は、地域を限定せず網羅的に切り抜いています。切り抜いた記事は台紙に貼って、キーワードごとにファイルに綴じていっています。ずっと昔から行われているので、懐かしのあんな記事、こんな記事に出合えるかも?! 新聞クリッピングは2階の郷土資料コーナーでご覧いただけます。

今読んでいる本 『嫌われた監督』(鈴木忠平/著 文藝春秋)

落合監督を見る目が(私は良い方向に)変わりました。

郷土資料担当にきいてみた！

他にもいっぱいあるけどね！

# おすすめ郷土資料

## 金城温古録

まさに名古屋城の百科事典！  
全部で56冊もあるのです。  
金鯨の鱗の枚数まで載っています。



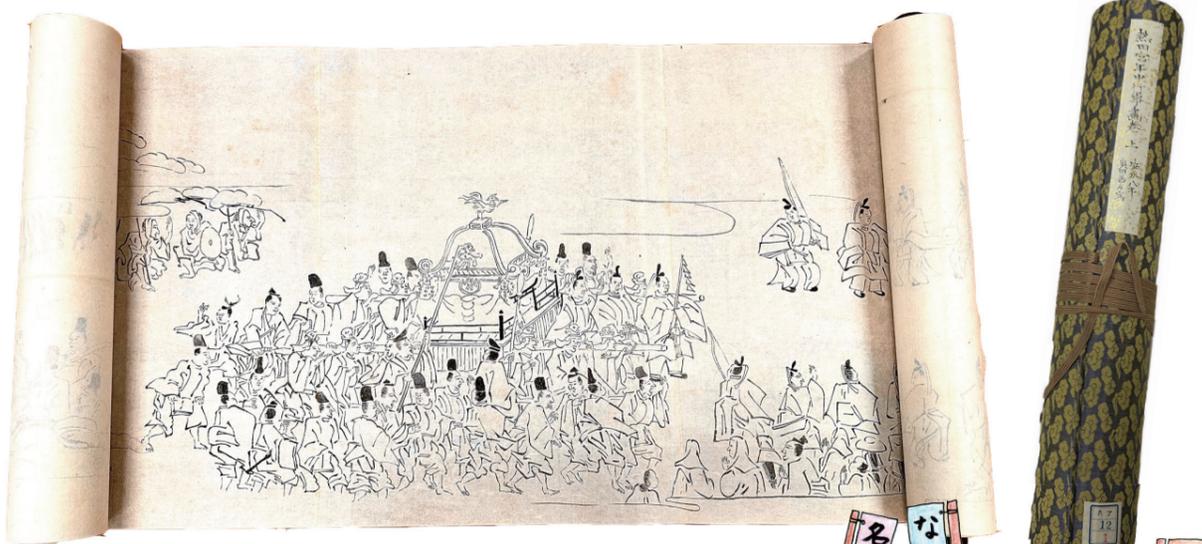
## NAGOYA 発

1987年から2005年まで  
市民経済局が出していた  
「なごや発掘・発信マガジン」。  
今読んでも面白い情報が満載です。



## 熱田宮年中行事画卷

現存する熱田宮の祭礼図としては、最古の景観を描いた卷子。  
賑わいが聞こえてくるようです。



## 名古屋新聞縮刷版

大正12年10月1日。名古屋市図書館の  
歴史はここから始まりました。  
皆さんの大切な日の新聞記事も探して  
みませんか？



## 名古屋なんでも調査団 7 5 8 調査団

名古屋市図書館ホームページでも、郷土に関する資料や情報を沢山紹介しています！

### なごやカレンダー

〇月×日に名古屋で何があったのか…。  
これを見れば、すぐわかる。調査続行中。

### 調査団報告書

調査団が調べあげた名古屋のことについての報告書。調査団報告書を読めば、あなたもきっと名古屋通！

### こんななごや本あります

調査団おすすめの「見て楽しい、調べて役立つ本」をご紹介します！

### 名古屋物語

あるなら読みたい、でも探すのは難しい、名古屋を舞台にした小説。名古屋の魅力がいっぱいのものから、思わず見落としそうな1カット登場のものまで、名古屋を描いた小説を集めました。

### 発見！名古屋の偉人伝

知られざる名古屋の偉人をご紹介します。

## なごやコレクション

名古屋に関するデジタル資料・データベースを検索・閲覧できます！

### 名古屋市史編纂資料 和装本

『名古屋市史』編纂資料をはじめ、名古屋に関する貴重な和装本のデジタルデータ

### 名古屋市史資料写真集

『大正昭和名古屋市史』の編纂係が撮影・収集した、名古屋の街並・産業・文化などに関する写真

### 名古屋の絵葉書集

明治後半～昭和初期にかけて刊行された、県内の名所や建築物などの絵葉書

### 名古屋市史編纂資料 地図

『名古屋市史』編纂のために収集・筆写した、主に江戸から明治にかけての名古屋や尾張藩に関する地図・絵図類

### 郷土検索データベース

名古屋を中心とした尾張・三河地方に関するキーワードから資料を検索することができます。



アクセス  
お待ちしております！

# 自動車図書館が新しくなりました！



今までありがとう！ なごや号・みなみ号！  
 大型車両「なごや号」「みなみ号」は2台共に2023年度で引退となりました。利用者の皆さまに車体にも書いてもらったお別れメッセージは一人一人の思い出が詰まった心温まる内容ばかり。自動車図書館への愛情を目にし、自動車図書館の歴史をしっかりと受け継いでいかなければという気持ちになりました。



もつと多くの人のところへ、これまで行けなかったところへ！  
 小型化して機動力を高め、台数を2台から4台に増やしたことで、これまでの大型バスのサイズでは行くことができなかったショッピングモールやオフィス街、規模の小さな施設にも行くことができるようになりました。  
 また、ブックワームは、自動車図書館が持つ「本と人が出会う場」の機能を最大限に発揮するための車両デザインや組み立て式本棚ベンチの製作について名城大学の谷田真研究室に協力していただきました。自動車図書館の周囲で親子が寄り添いながら本を読めるような、日本のどこにもない、全く新しい自動車図書館となっています。  
 これまで定期的に巡回してきた100カ所以上の駐車場はもちろん、イベントなどが集まる場所にも新たに出品し、今は図書館から足が遠のいている方、本を手にとることが少なくなっている方々に図書館の魅力、本を読む楽しさを届けていきます！

名古屋市図書館では1956年から自動車図書館の活動が始まり、今年で約70年。いままでの「なごや号」「みなみ号」の2台での運行から、小型化し4台体制になりました！ 各区の図書館から離れた地域の方にも図書館を利用してもらえるように、市内100か所以上を巡回しています。また、市内のイベントにもスペシャル出動しています！  
 愛称は、上の写真手前から「あおまめ」「えだまめ」「ひよこまめ」「ブックワーム」！手前3台の愛称は、名古屋市在住の飯田さんが考えてくれたもので、一般投票によって選ばれました。  
 「小さくなくても、移動図書館のワクワク感はそのままだ。小さくても栄養いっぱい！で、カラフルなお豆になぞられました」という思いが込められています。



巡回日程



Instagramも



藤本昌一さん

(庶務担当)

図書館員の有志が中心となって運営しているレファレンス研修会「なごやレファレンス探検隊」(通称・レファ探)を立ち上げ、業務外でも研鑽を積んで精力的に活動している藤本さんに、レファ探の活動や図書館への想いを語ってもらいました。



レファ探の活動や発足の経緯を教えてください。

参加者が事前に課題を解いてきて、その回答を共有し合うことでレファレンス(以後省略・レファ)スキルを上げようという研修会です。様々な地域の図書館員が参加しているので、他の人が使用した便利な資料が自分の図書館にない場合、購入することも考えたり、自館での困り事にどう対処しているか意見を聞くことができる時間もあつたりするので、単にレファのスキルアップだけでなく、図書館のブラッシュアップにもつながる要素があると思っています。

発足については、司書として働き始めて3年目、私は自動車図書館にいたので、レファの経験が積めておらず焦っていました。そんな時期に、東京の三多摩地区でやっているレファレンス探検隊の方法を愛知県で披露してくれるイベントがちょうどあり、そこで感銘を受けて、同

じく若手の同僚2人と名古屋でも立ち上げようということになりました。

それから約四半世紀たちますが、ご感想は?

今はインターネットが広く普及してパッと答えが出たりすることもあるけれど、本に当たらないとわからないこともやっぱりありますし、変化はするけれど昔と変わらないところもあるなと。あと、昔にやった課題を今やってみると、参考図書やネットの情報源が違っていたりするので、アップデートしていく必要性を感じます。また、当時に比べて今は司書の雇用が不安定になつているので、レファ探が一つの居場所になればいいなとも思っています。勉強会だけれど、遠方の図書館へ見学旅行に行ったり懇親会をしたり交流の面も強いので。ただ、最近は新しい人があまり来てくれなくて、ちょっと寂しいです。勤務外でやっていることだから、今のご時世「ぜひ来なさい」なんて強く言えないですからね。

次回の案内(回答集も含めた分厚い冊子)を沢山の司書にずっと送ってくださいますよね。

そう。毎回印刷代と郵送料ですごくいいことになっていきます。総額で多分車買えると思う。なのにあまり来る人増えないし、しかもずっと執拗に届くのって鬱陶しいし怖いと思うんですね。届いて私の名前を目にするたびにマイナスのイメージを持たれてるんじゃないかな。毎回これ送っていいのかな、私は一体何をしているんだろうって心をすり減らしながら送り続けています。こんな愚痴みたいなこと書かないでいいからね(苦笑)。

そんなに大変なのに続ける熱意はどこから?

研修と交流の良い機会ですし、名古屋市以外の司書の方々にも手伝ってもらっているので、まあ結局ミソとしては続けることかなと。今まで続けていて楽しいこともあつたし、ひよつとしたらこれからもっと楽しいことがあるかもしれないし。一人での勉強は限界があるから、他の人の力も借りて各々スキルアップしていきたいらと思つています。

藤本さんのレファにおけるモットーは?

2つありまして、1つはとりあえず何でもレ

ファ探する。全く分かりませんっていうんじゃないでいい、回答に行きつかないにしても何かは提供したいです。もう1つは回答時間を短く的確に、その利用者さんにちょうどよい内容でということなんです。だって5分でパッと答えをもらうのと、すごく時間をかけて丁寧に調べても5分のと同じ答えだったら絶対前者がいいでしょ。熱心に調べてくれてありがとうって人もいるかもしれないですね。

現在は庶務担当なのでレファを受けることはないですか? 庶務でどんな仕事を?

議員さんからの質問やテレビの取材でデータなどを求められることぐらいはあります。そういう時に、あの統計に載っているなとか見当がつくのでレファの知識が活かしているような気がします。私のやっている庶務の仕事としては、入札や契約、広報などで、司書を支える裏方、最前線で戦っている司書に対して補給をしているような仕事です。ガンダムでマチルダさんっていう補給に誇りを持ってやってらっしゃる人がいるのですが、そういうのに似ているなと思つきました。

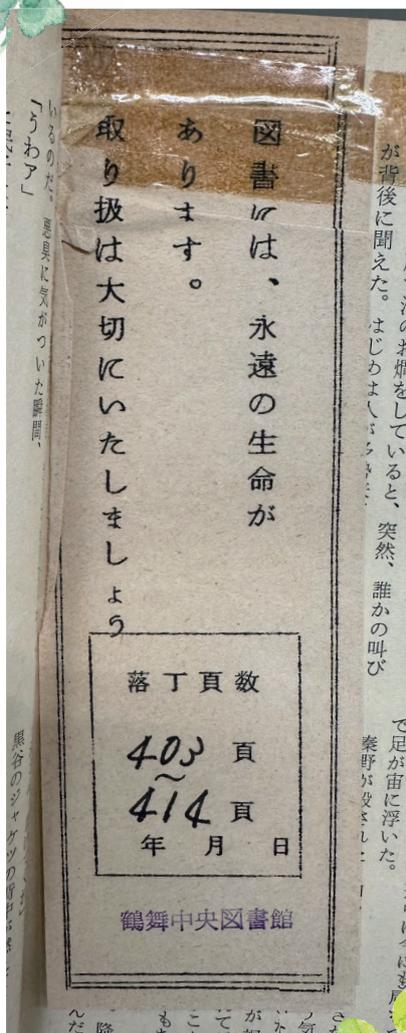
レファを沢山やれる部署に以前はいらっしゃいましたが、また戻りたいですか?

正直羨ましいなあとは思いますが、若い時に一度いましたから。この間、50になったのですが、50のおっさんが若い人に紛れて同じことをやるより変化をつけた方がいいのではないでしょう。自動車図書館だったり新館の立ち上げや児童サービスだったり色々経験は積んでいるので、どこにいてもそれを活かしていけると思っています。庶務の仕事は一年目でまだちょっと戦力になれていないかもしれませんが、ここでの経験がまた自分のためにも図書館のためにもなるような気がしています。

今後の図書館への展望は?

私は図書館プロレスなど自分だけでイベントを企画するのが好きなのですが、司書の自己満足というか、そういうのじゃなくて、地域の団体や利用者さんともっと一緒にやっていった方がいいんだらうなと思つていますね。地に足をつけて地域を良くしていくっていうのは図書館だけじゃできないことのような気がするし、もっと巻き込んで色々な可能性を広げられる図書館にしていければと思つています。

なごやレファレンス探検隊についてもっと知りたいという方はブログとHPもありますのでぜひ検索してみてください!



返却される本には利用者さんの私物が挟まっていることがたまにあります。

葉、レシート、お手紙、写真 etc...

今まで見つけたもののなかで印象に残っているものは何かと周りの職員にきいてみたところ、

一万円札(もちろん警察に届けています)というケースや、四つ葉のクローバーが挟まっていてちょっとラッキーな気分になったというほっこりエピソードなんかがありました。みなさんも本を返す際は忘れ物にご注意ください。

「図書には、永遠の生命があります」

さて、こちらは利用者さんではなく、図書館が挟んだ注意書き。

現在はこの様式ではないので、ずいぶん昔のものものだと思われませんが、なかなか強いメッセージ。

書庫には百年以上前の本も沢山あることを考えると、確かに本には永遠の生命がありますね。



発行：2025年3月

名古屋市鶴舞中央図書館

電話：052-741-3131

FAX：052-733-6337

バックナンバーはこちらから

